



## IDC コンテンツ使用ガイドライン

IDCでは、クライアント企業に対し、IDCの市場調査データと市場情報を社内の経営・事業計画および対外的なコミュニケーションの両方で積極的に使用していただきたいと考えています。ただし、IDCの情報コンテンツは著作権で保護されているため、IDCのコンテンツの外部使用にはすべて、事前にIDCによる書面の許可が必要です。外部使用には、IDCコンテンツのサブライセンス、リース、販売、または販売の申し出、およびIDCの情報コンテンツの公開・表示が含まれますが、以下に限定されるものではありません。

- 広告（ウェブベースの広告を含む）
- 外部向けプレゼンテーション、提案書、レポート
- プレスリリースとメディアアラート
- 販促資料とマーケティング資料
- ウェブページ、ブログとソーシャルメディアへの投稿、その他のオンラインサービス

IDCが提供する情報は、IDCからの書面による許可なしに、貴社の従業員以外（サプライヤー、関連会社、パートナー、請負業者、投資家、顧客、報道関係者を含む）に複製、抜粋、再フォーマット、翻訳、その他の目的で転用、または配布することはできません。これらの行為はIDCの著作権に対する侵害に当たり、法的措置の対象となる可能性があります。

IDCのグローバル市場情報とアドバイスの価値をクライアント企業が最大限に活用し、使用されるIDCの情報コンテンツが正確かつ最新であり、適切に出典が示され、適切な文脈で提示されることを確実にするため、IDCは、IDCのコンテンツとアナリストの引用許可を得るためのガイドラインを以下の通り作成しました。Trackerやマルチクライアント調査、IDC MarketScapeレポート、IDC Innovators、IDC Awardプログラムなど、特定のIDC製品については別途、ガイドラインを定めていることにご留意ください。

本ガイドラインについてご質問がある場合は、[permissions@idc.com](mailto:permissions@idc.com)までメールでお問い合わせいただくか、IDCのパーミッションチーム（米国内：508.935.4268）にお電話いただくか、またはお住まいの国のIDCのカントリーマネージャーにお問い合わせください。また、お客様の会社がスポンサーとなっているカスタムエンゲージメントに関するご要望の場合は、IDCのGo-to-Marketサービスのエンゲージメントマネージャーにお問い合わせいただくこともできます。

### IDC コンテンツ使用に関する一般的な基準：

- **外部使用可能なコンテンツ：**使用されるコンテンツは、IDC.com で入手可能な調査レポート、IDC White Paper またはマルチクライアント調査、もしくは四半期ごとの IDC データ製品（Tracker、QView など）で公開されたものでなければなりません。
- **データの有効期間：**使用されるコンテンツは、過去 18 か月以内に IDC が公開したものでなければなりません。市場予測（IDC Market Forecast）および市場シェア（IDC Market Share）データは、公開サイト上でアップデートされている最新のデータを取得する必要があります。この基準には一部例外があります。詳細については、[permissions@idc.com](mailto:permissions@idc.com) にお問い合わせください。
- **出典：**使用されるすべての IDC 情報は、クライアント企業のコンテンツアセット内で適切に出典を明記する必要があります。IDC の情報源の標準フォーマットは以下の通りです：IDC、レポートタイトル、Doc #xxxxxxx、発行年月。IDC White Paper、IDC InfoBrief、IDC Infographic、IDC eBook については、以下のようにスポンサーの名前を

含める必要があります：IDC White Paper（または IDC InfoBrief、IDC Infographic、IDC eBook）、スポンサーベンダー名、レポートタイトル、Doc #xxxxxx、発行年月。

- **忠実な引用のみ**：IDC コンテンツからの抜粋は、IDC の情報源から忠実にそのまま引用する必要があり、抜粋の元の意味を変更または歪めない文脈で使用されなければなりません。数文以上に渡る長い抜粋には、別途ライセンス料が必要になる場合があります。また、言い換えは一切許可されません。
- **ベンダー直接比較**：競合他社に関する直接的な比較情報を含む、プレスリリース、マーケティング資料、ブログやその他のウェブ投稿、広告などのクライアント企業のコンテンツアセットは、正確性と文脈について慎重に精査されることになり、使用が認められない可能性があります。すべてのプログラムクライアントに代わって行われるカスタムプロジェクト、問い合わせ、または標準プログラムの公開成果物以外の活動から得られた比較情報については、外部での使用や配布は許可されません。
- **異なる調査レポートから取り出した IDC データの組み合わせ**：別々の市場予測レポートから取り出した IDC データを組み合わせることは、綿密な審査を受けることになり、許可されない可能性が高いです。
- **IDC データに基づく計算**：IDC データに基づく計算は、特に綿密な審査を受けることになり、許可されない可能性が高いです。
- **IDC の市場定義**：市場データは IDC の市場セグメンテーション内で使用される必要があります。IDC の市場定義で認識されていない市場やサブ市場は承認されません。特別なまたはカスタムの市場セグメンテーションは許可されません。
- **市場ランキングおよびリーダーシップの主張**：市場リーダーシップおよびランキングの主張は、IDC Market Share 調査レポートおよび Tracker/Qview の調査結果に対してのみ行うことができます。「リーダー」「メジャープレイヤー」「コンテンダー（競合者）」などのリーダーシップの主張は、公表された IDC MarketScape レポートに基づいて行うことができます。
- **ベンダー市場シェア**：外部（公開）文書でベンダー比較の市場シェアを示す際には、上位 3 社または上位 5 社のベンダーのみを使用できます。個別の競合他社との直接比較は強く反対され、おそらく却下されます。競合他社のベンダー名は、世界、米国、カナダで使用できます。他方、EMEA、ラテンアメリカ、日本、アジア太平洋地域では競合他社のベンダー名を使用できません。具体的なベンダー名の代わりに、ベンダー A、ベンダー B、ベンダー C などと表記する必要があります。なお、国レベルでの市場シェアについては、アナリストとリサーチバイスプレジデントの事前承認が必要です。
- **IDC ProductScape**：IDC ProductScape の調査結果に基づいて、認知度、ランキング、最高評価、またはスコアランキングを行うことはできません。IDC では、IDC ProductScape の調査結果に焦点を合わせたプレスリリースを許可していません。IDC ProductScape が公開されるプログラムのクライアントであるベンダーは、自社のベンダースライドから引用できます。IDC ProductScape のスライドを使用する場合は、Excerpt（抜粋版）の購入が必要であり、その抜粋版は全文を使用しなければなりません。スライドを抜粋版から取り出して個別に使用することはできません。競合他社の結果やベンダー名への言及は許可されません。製品機能評価バブルチャートは、いかなる種類のランキングや採点でもありません。企業が自社製品において特定の機能を完全に、部分的に備えているかどうかを表すものです。
- **電子メールの件名**：クライアントまたは第三者宛ての電子メールの件名に「IDC」を使用することは許可されていません。

## プレスリリース

- IDCは、ベンダーまたは製品が IDC の調査レポートまたは IDC White Paper で言及またはプロファイルされたことのみを発表するプレスリリースを**承認しません**。このような場合、IDC の「言及」またはプロファイルへの参照は、他の発表（製品発売、イベント、顧客獲得など）を主な焦点とするプレスリリースで使用してください。したがって、IDC の情報は、そのプレスリリースにおけるベンダーの主要なメッセージを支持する趣旨で使用してください。
- IDC は、以下のレポートタイプの IDC の調査レポートにおけるベンダーの市場実績やポジションを発表することを主な目的とするプレスリリースを**承認します**：**IDC Tracker、IDC Market Share、IDC MarketScape** レポート、**ソートリーダーシップ（ベンダー中立）の IDC White Paper、IDC Innovator などの IDC Award プログラム**。これらの各レポートタイプに対しては別途、コンテンツ使用ガイドラインがあり、ご要望に応じて IDC から入手可能です。
- IDC の企業広報チームによる事前承認なしに、クライアント企業のプレスリリースで IDC の企業定型文を使用することは、共同プレスリリースとみなされる可能性があるため、許可されません。
- プレスリリースの見出しおよび小見出しで「IDC」を使用することは許可されません。この規則の唯一の例外は、IDC MarketScape のプレスリリースです。許容される代替表現には、「アナリストアドバイザー主要プロバイダー」「市場調査会社」などがあります。
- プレスリリースの本文で IDC を説明する際の推奨表現は以下の通りです。  
IDC（グローバル IT 市場調査およびアドバイザーサービスの主要プロバイダー）は……  
IT 市場調査およびアドバイザーサービスの主要企業である IDC は……

## アナリストのコメント

- アナリストのコメントを引用する場合は、IDC の最新のデータ、分析、意見に関して正確、客観的、完全、かつ適切でなければなりません。
- IDC の調査レポートから引用する場合、IDC アナリストのコメントに帰属する引用は、意味が誤解されないように、全体の文脈を踏まえて使用してください。
- 引用は、アナリストの専門分野における市場ニーズ、顧客要件、または技術開発に関した内容である必要があります。
- 引用は企業や製品を宣伝するものであってはなりません。それはクライアント企業の広報担当者の役割です。同様に、特定のベンダーに関する否定的または警告的なコメントは、いかなる形でもその競合他社による利用を許可できません。
- IDC アナリストの正式な肩書きは、アナリストの氏名とともに記載されなければなりません。
- アナリストの引用はすべて、引用されるアナリスト本人によって確認および承認される必要があります。多くの場合、引用は IDC のバイスプレジデントによる確認と承認も必要です。引用されるアナリストがクライアント企業の時間枠内で確認できない場合、その引用自体は承認されません。

## ソーシャルメディア

- Web 2.0 やソーシャルメディアアプリケーション（ブログ、Facebook、LinkedIn、X（旧Twitter）、Wikipedia、YouTube を含みますがこれらに限定されません）での IDC 情報の使用は、本文書に記載されているのと同じガイドラインの対象となります。たとえば、IDC による事前承認なしに、Facebook ページや LinkedIn グループ、X（旧Twitter）のハンドルやハッシュタグの名前に「IDC」を使用することはできません。これらの使用は常に、IDC が主導するイニシアティブのために留保されています。
- IDC は、個人と組織の間および相互の「会話」が進化し続け、増加するソーシャルメディアプラットフォームを活用していることを認識しています。IDC は、IDC の成果物に「コメント」した

り「ツイート」したりすることと、成果物の内容について「コメント」したり「ツイート」したりすることを区別しています。後者の場合、IDCが@idcの公式ハンドルや他の承認されたIDCアナリストまたは代表者を通じてプレスリリースやツイートの形で直接公開した情報でない限り、外部コンテンツ使用と同様に、常にIDCの事前許可が必要です。

- たとえば、IDCの最新のServer Trackerの数値データが公開されたらツイートし、IDCの調査レポートやプレスリリースにリンクを貼る場合は、申請は必要ありません。しかし、最新のServer Trackerの結果についてツイートする場合（例：「XYZベンダーが第1位！」）、上記のように直接一般に公開されていない限り、IDCの事前許可が必要です。ソーシャルメディアのプレゼンスを確立する際（例：Facebookページ、ブログ、X（旧Twitter）のプロフィールなどの設定）にIDCを使用または参照する場合は、IDCの事前承認が必要です。

## 図表、グラフィックス、ロゴスライド

- **IDC MarketScape** グラフィックなどの IDC の図表やグラフィックスの使用には、別途ライセンス料が発生する場合があります。詳細については、IDC の営業担当者または [permissions@idc.com](mailto:permissions@idc.com) にお問い合わせください。
- IDC の図表を使用するクライアント企業は、公開された文書に記載されている通りに正確に使用する必要があります。表示されているベンダーや市場の一部のみを表示することはできません。
- IDC の市場シェア順位（例：1 位、2 位など）を示す図表の使用は、それを公開したリサーチグループのバイスプレジデントによって許可される場合があります。これはリサーチグループバイスプレジデントの判断によります。
- IDC の図表やグラフィックを表示する際、市場名を変更または修正することはできません。
- IDC の図表やグラフィックを表示する際、図表を説明するタイトルを変更または修正することはできません。
- IDC の数字やグラフィックを表示する際、単位、列、行、軸、ラベル、凡例などは一切変更または修正できません。
- 以下のグラフィックは、**追加料金なし**でクライアント企業のプレゼンテーションで使用できます：**IDC DecisionScape** のグラフィックと **IDC Market Share** の**エグゼクティブグラフィック**。
- 全体を表示させた **IDC Market Forecast** の**エグゼクティブグラフィック**は、外部で使用することは**できません**。クライアント企業のプレゼンテーションでは、最初と最後の年の合計値（セグメントの内訳なし）を含み、ヘッダー（グラフィックのタイトル）と出典として IDC の記載を含む修正版を使用することができます。
- **IDC Market Glance** のロゴスライドの使用は、IDC の許可を得た上で、IDC のクライアント企業および非クライアント企業ともに無料です。ただし、ロゴスライドは一切**変更してはいけません**。追加で **IDC Market Glance** コンテンツについて引用許可を申請する場合は、カスタムリクエストとなり、追加料金が必要となります。
- **IDC Tracker Query Tool** の「Views」セクションで生成されたグラフィック（すべてのチャートを含む）は、**社内使用のみに限定**されます。
- IDC のグラフィックをクライアント企業のプレスリリースに掲載することはできません。
- IDC MarketScape のプロモーション用のバッジを作成することはできません。

## その他

- リプリントは IDC が制作するか、第三者がリプリントする場合は事前に IDC の書面による許可を得る必要があります。IDC の著作権表示を必ず含める必要があります。リプリントに関する詳細については、IDC 営業部（sales@idc.com）までお問い合わせください。
- クライアント企業が引用承認済みの IDC 情報を他の言語に翻訳する必要がある場合、翻訳対象のテキストを IDC に送付して内容確認と承認を受ける必要があります。IDC アナリストに翻訳を依頼する場合、その依頼は、コンテンツ引用申請と同時に行う必要があります。申請者側が翻訳を行う場合は、各言語の翻訳について承認が必要になりますので、コンテンツ引用申請時に、クライアントが翻訳したテキストを提出してください。これには、関連する IDC 現地オフィスによる内容確認のため、最大 10 営業日かかる場合があります。
- IDC が提供する以外の資料は、IDC による資料の外観や雰囲気、その他のブランド要素を模倣してはいけません。
- クライアント企業が作成した資料における IDC ロゴの使用は推奨されません。IDC のロゴ使用ガイドラインの詳細については、permissions@idc.com にお問い合わせください。
- IDC は、独自の裁量により、IDC のコンテンツを使用、表示、または配布する許可を終了または変更する権利を留保し、第三者に対して、IDC の単独の判断において、これらのガイドラインに準拠していない、または IDC の権利を損なう可能性があるとして判断されるコンテンツの使用を修正または削除するよう要求することがあります。さらに、IDC は、その商標または著作権の不正な使用や誤用に対して異議を唱える権利を留保します。

## 申請プロセス：

- IDC が提供する情報の使用許可を得るには、クライアント企業は IDC の情報を含むコンテンツアセットの完全な最終版を提出する必要があります。これにより、IDC は使用の全体的な文脈を把握し、その正確性、最新性、適切な帰属を確認することができます。コンテンツアセットは通常、文書形式（プレスリリース、マーケティング資料、プレゼンテーション、財務報告書、ウェブページ、ブログ記事、ツイートなど）で提出されますが、音声や動画などの他のマルチメディア形式で提出されることも可能です。
- 提出物には、IDC 情報の出典を明記する必要があります。
- IDC 情報の使用リクエストと、それを使用するコンテンツアセットは、確認と承認のために permissions@idc.com に送信することができます。
- IDC 情報の引用申請は、IDC パーミッションチームと当該調査を担当したアナリストによって、文脈、正確性、最新性、適切な帰属について慎重に審査されます。承認には、適切な IDC のリサーチバイスプレジデントまたは IDC の各国のカントリーマネージャーによる追加の審査が必要な場合があります。
- ほとんどの申請は、提出後 72 時間（2～3 営業日）以内に審査され、承認されます。ただし、ソース情報の不足、申請時に提出されたコンテンツアセットの形式、コンテンツアセットに大幅な変更を加える必要性、審査と承認を担当する IDC アナリスト／バイスプレジデントのスケジュールの都合など、さまざまな要因により承認が遅れる可能性があります。マルチメディア（音声、動画など）の審査申請は、文書ベースの申請よりも時間がかかる場合があることに留意ください。
- IDC の引用許可は、審査のために提出されたコンテンツアセットにのみ適用されます。IDC は、クライアントが選択した任意のコンテンツアセットにおける IDC 情報の使用に対して「包括的な承認」を発行することはありません。IDC 情報を含む各コンテンツアセットには、IDC による個別の審査と承認が必要です。IDC から承認が発行された後にコンテンツアセットに変更が加えられた場合、改訂されたコンテンツアセット全体を再提出し、再度の審査と承認を受ける必要があります。

IDC のコンテンツ使用ガイドラインに関するご質問は、[permissions@idc.com](mailto:permissions@idc.com) までお送りください。